令和7年度平和文化月間・ひろしま図書館まつり関連事業
『本で感じる「平和」～心があたたかくなる１冊を教えてください～』応募作品

枠外右の表示について、☆は広島市立図書館に所蔵なし　★は所蔵なし・出版情報が不明　の本です。

令和8年11月　中央図書館作成

	書名	著者名	コメント
1	赤と青のガウン	彬子女王／著	皇室の方の日常や留学記が面白く、心があたたまる。
2	あさになったのでまどをあけますよ	荒井　良二／著	ページいっぱいに描かれた窓からの景色。見慣れた山、街、海… 何気ない日常が続くことの幸せと、新たな１日が始まる希望を感じることができる１冊です
3	あずかりやさん	大山　淳子／著	ちょっと不思議な「あずかりやさん」を舞台にした短編連作小説です。大人から子どもまで楽しめると思います。
4	あやちゃんのうまれたひ	浜田　桂子／さく・え	みんなが赤ちゃんをまっているところがすき。あかちゃんが生まれた時のページもすき。
5	アラスカの小さな家族 バラードクリークのボー	カークパトリック・ヒル／著，レウィン・ファム／絵，田中　奈津子／訳	アラスカに住むボーは、父さんたちや街の人の中ですくすく育ちます。人間のやさしさ、あたたかさ、良心などがとてもここちよい、読後感のよい作品です。

	書名	著者名	コメント
6	ありがとう　なかよし	しもかわら　ゆみ／作	仲間と助けあい２人の主人公が仲よくなっていき、うれしくなってゆき、とても平ぼんな本だとおもいました。
7	アレクセイと泉のはなし	本橋　成一／写真と文	チェルノブイリの原発事故で汚染されたベラルーシの小さな村には、汚染されないきれいな水が湧く泉があります。そこに残って暮らす人々を描く、写真絵本。自然のすばらしさを感じさせます。
8	いたずら人形チョロップ	たかどの　ほうこ／作絵	家族そろって気むずかしい“キムヅカさんち”にもらわれていった人形のチョロップ。飼い犬のシロと仲良くなって、みんなにいたずらをしていきます・・・。本の中の絵も物語もたかどのワールドいっぱいの楽しくて、ほんわかする一冊です。ぜひ親子で手にとってみてください。
9	一途に　～藤枝良枝物語～	桐田　孝美／漫画, 藤枝　良枝／原作	何不自由なく裕福に暮していた少女が病気のために音を失い、原爆で家族を失う。失意の中にありながら平和の大切さを訴える活動に尽力した１主婦の物語です。ぜひ読んでみて下さい
10	一途に　～藤枝良枝物語～	桐田　孝美／漫画, 藤枝　良枝／原作	聴覚障害、被爆者…等、何重もの苦難にも負けず、平和活動に一途に取り組まれた女性のお話です。まんがで分かりやすく書いてあります。平和資料館１Fロビーにある、ローマ法王平和アピール碑についての内容でもあります！

	書名	著者名	コメント
11	一日の最後に読みたい本。 ～奈知未佐子自選短編集～	奈知　未佐子／著	短編集なので一話はすぐ終わるのですが、それぞれ心にじぃ～～んと染みます。一人静かに読みたい本。読んでみて！とすすめたくなる本です。
12	海からとどいたプレゼント	上崎　恵美子／作， 笠原　美子／画	クエのおじいさんがいいです。「平和」がテーマといえばこの一冊です。
13	おおきな木	シェル・シルヴァスタイン／作， 村上　春樹／訳	「３才から老人までの絵本」と表紙の裏にあるように、とてもシンプルで、けれど「愛」というものの本質が描かれた本だと思う。忘れられない絵本です。
14	おこりじぞう	山口　勇子／原作， 沼田　曜一／語り， 四国　五郎／絵	日本の広島の地に立つおじぞうさまが伝えるいのちの大切さ。平和を考える絵本です。
15	おじいちゃんのごくらくごくらく	西本　鶏介／作， 長谷川　義史／絵	「ごくらく、ごくらく」。いのちを想う優しさがあふれる絵本です。
16	おじさんのかさ	佐野　洋子／作・絵	きょうるうのなまえがなかった！！

	書名	著者名	コメント
17	おひさまとえんぴつ	羊の目。／著	生まれつき耳が聞こえない女の子「沙希ちゃん」。 お姉ちゃんやお母さんとの家族の絆、クラスメートとの心温まるエピソードでいっぱい。 読んでるとほっこりします。
18	おへそのあな	長谷川　義史／作	おなかの中にいる赤ちゃんが お母さんのおへそのあなをとおして見た、お兄ちゃんやお姉ちゃん、お父さんたちの様子が描かれています。赤ちゃんの誕生を待ちわびる家族の姿に心があたたかくなる絵本です。
19	女の園の星	和山　やま／著	女子高を舞台にした穏やかな日常をユーモラスに描くお話です。小さな出来事が大きな笑いに変わる瞬間を味わえる心地よいコメディで、ほっこりとした気持ちになります。
20	神去なあなあ日常	三浦　しをん／著	高校を卒業した「俺」がひょんなことから「なあなあ」を大切にする山村で林業にチャレンジすることに・・。個性的で穏やかな村の人たちとの交流が楽しい小説です。
21	ガラスのうさぎ	高木　敏子／著	戦争の悲しみを越えて、生きる勇気と平和の尊さを伝えます。心に深く響く、未来への祈りの物語。

	書名	著者名	コメント
22	キッチン	吉本　ばなな／著	大切な人を失った主人公が、他人との関わりの中で立ち直っていく姿が描かれており、心が温まります。日常の中にある小さな癒しや希望がこの物語の大きな魅力です。
23	きっときこえるよ	藤原　美香／作，村本　美香／作，瀧川　裕恵／絵	（被爆樹木の絵本） 怖くない
24	君の名は	新海　誠／作， ちーこ／挿絵	よんでみてからのおたのしみ♡
25	きょうはなんのひ？	瀬田　貞二／作， 林　明子／絵	まみこちゃんが隠したたくさんの手紙。お母さんは書かれたヒントをもとに一つ一つ探していくと最後に全部集まった手紙にはあるステキなメッセージが…という絵本です。家族みんながとても優しくて、読み終わると自分も優しい気持ちになっています。
26	きょうりゅう	未記入	未記入 ★
27	巨大おけを絶やすな！	竹内　早希子／著	しょうゆ・みそ・さけを作る巨大桶をつくれる職人がいなくなるその問題に立ち上がったのは小豆島の人たちです。

	書名	著者名	コメント
28	黒ねこのおきゃくさま	ルース・エインズワース／作， 荒　このみ／訳， 山内　ふじ江／絵	ひとりのまずしいおじいさんのもとに突然やってきた黒ねこのおきゃくさま。雨でびしょぬれのみすぼらしい黒ねこに、おじいさんはありったけの食べものを与えます。黒ねこといっしょにだんろの火にあたりながら、おなかがぺこぺこなのも忘れて、おじいさんの心はしあわせで満たされます。おじいさんの静かなよろこびが伝わって、私の心もあたたかくなる一場面です。
29	げんばくピアノ	未記入	そのピアノはげんばくされて全しんにガラスがささっていました。が、心にのこりました。 ★
30	江　姫たちの戦国	田渕　久美子／著	戦国時代を生きた江についてかかれた心あたたまる一冊です。平和についても考えさせられます。
31	高台家の人々	森本　梢子／著	妄想が大好きな普通のOLと人の心が読めるイケメン御曹司。交わるはずのなかった二人が出会ったら…！？クスッと笑えて胸がキュンとする不思議なラブコメディです。
32	孤食ロボット　1	岩岡　ヒサエ／著	今日のごはんは誰と食べますか？栄養は足りていますか？ロボットをお供に日々の食事を楽しめます。

	書名	著者名	コメント
33	この世界の片隅に 上・中・下	こうの　史代／著	読みすすめると悲しくてページをめくる手が止まってしまいますが、初めの頃のお話は何度も読みたくなる本です。
34	この世界の片隅に 上・中・下	こうの　史代／著	ばくだんがおちたあとへいわになるのがかんどうしたよ
35	この世界の片隅に 上・中・下	こうの　史代／著	ばくだんがおちたとき、ひとびとはどうしていただろう。
36	この世界の片隅に 上・中・下	こうの　史代／著	昔の人がどんなくらしをしていたかとか、せんそうについて学べるのでおすすめです。
37	こんとあき	林　明子／さく	こんとあきがおばあちゃんの家へ向かう冒険物語。こんはどんなときもあきを守ろうとし、あきはこんのピンチを助けようとします。2人の思い合う姿に心があたたかくなります。
38	サムライカアサン	板羽　皆／著	豪快でおせっかい、でも誰よりも息子を大切に想う母と、その愛をちょっと鬱陶しく感じながらも受け止めている高校生の息子を描いたハートフルコメディ。親子っていいなとしみじみ感じられる一冊です。
39	三拍子の娘	町田　メロメ／著	素朴な日常の中にある、ささいな喜びや悲しみも三姉妹と周りのみんながhappyならばオールOK。

	書名	著者名	コメント
40	幸せって何だろう	佐藤愛子／〔ほか著〕	６８人の著名人による幸せのかたちについてのエッセイ。いろんな人の幸せ感がほっこりし、手元において折にふれて読み返したくなるような本です。
41	じいじ、ばあば	よねやま　ひろこ／文，りお／絵	安心して、こどもといっしょにながめられる平和を感じる本だと思いました。
42	じいじ、ばあば	よねやま　ひろこ／ぶん，りお／え	よんでいると、自分のおばあちゃんのことを思い出してほっこりした気持ちになれます。
43	しかしか	石井　陽子／写真・文	昔、宮島に遊びに行ったとき、鹿に追いかけられたことを思い出します。良い思い出です。
44	しっぽをなくしたイルカ	岩貞　るみこ／作，加藤　文雄／写真	あのタイヤメーカー・ブリジストンもおしみなく技術提供！ 最後はくすりと笑ってしまった一冊です。
45	少年の木－希望のものがたり－	マイケル・フォアマン／作・絵，柳田邦男／訳	戦争で破壊された街の中で芽生えた緑の葉を育てる少年の「希望」を失わない姿が心に響きます。
46	しんせつなともだち	方　軼羣／作，君島久子／訳，村山　知義／画	寒い冬の日に、雪の中で２つの「かぶ」を見つけた子うさぎ。１つ食べて、もう１つは、ろばさんのところへ届けます。友達を思いやる、やさしさがあふれています。

	書名	著者名	コメント
47	水車小屋のネネ	津村　記久子／著	とある姉妹の40年間を描いた長編小説。人に優しさを与えてもらったからこそ、人に優しさを与えられる姉妹の生き方が素敵な作品です。出会った人や思い出を大事にしようと思いました。
48	ずーっとずっとだいすきだよ	ハンス・ウィルヘルム／えとぶん， 久山　太市／やく	さいごに、エルフィーがしぬのでとてもなけます
49	せかいいちうつくしいぼくの村	小林　豊／作・絵	アフガニスタンの美しい自然の中にある村の生活が描かれています。絵もきれいで、行ってみたいな…と思うよう。でも、これが戦争前の姿だとさいごに分かります。
50	絶体絶命でんぢゃらすじーさん	曽山　一寿／著	ギャグがばくしょう♡
51	そらいろのたね	中川　李枝子／さく， 大村　百合子／え	どうぶつたちが　みんなで　うちに入っていくところがすきです。
52	ソルハ	帚木　蓬生／著	戦禍のアフガニスタンを舞台にした物語。タリバンに制圧された首都タブールで暮らす少女ビビの力強く生きる姿にこちらが励まされます。「ソルハ」はダリ語で“平和”を意味する言葉だそうです。
53	たずねびと （『かげふみ』に所収）	朽木　祥／作	内ようは、主人こうが「くすのきあや」が亡くなったもう一人の「アヤ」に会いに行くおはなしです。さいごにあやが平和の大切さをしれた気がするかんじがしました。げんばくのつらさ、いろいろなこともこの本でしることができました。

	書名	著者名	コメント
54	ちいさなトガリネズミ	みやこし　あきこ／作	ちいさなトガリネズミの、ある一日が描かれた絵本。どの日も、何の変哲もなく、ともすれば退屈にさえ思えます。 でも、何の変哲もない退屈な日々を送れて、一日の終わりに「よし」と思えること自体が、平和だと思うのです。
55	地球の平和	スタニスワフ・レム／著, 芝田　文乃／訳	未来の地球を舞台に、人と機械がともに生きる道を考える物語。静かに「ほんとうの平和とは何か」を問いかけます。
56	月の影影の海　上・下 （十二国記）	小野　不由美／著	異世界につれていかれた主人公。上巻は不幸なことばかりで苦しいけど、だからこそ下巻を読んだとき心があたたかくなります。
57	てぶくろ	ウクライナ民話 エフゲーニ・ラチョフ／え	手袋の中で次々とやってくる動物たちと仲良く暮らしている所がなんともほほえましく思いました。
58	どうぞのいす	香山　美子／作, 柿本　幸造／絵	うさぎさんが作った「どうぞのいす」に動物たちが次々とやって来て、優しさをリレーしていく、心あたたまるお話です。思いやりや分け合う気持ちの大切さを自然に描いた一冊です。
59	どうぞのいす	香山　美子／作, 柿本　幸造／絵	いすの上に置かれた食べ物を食べていく動物たち。次にくる動物のことを考えて、自分が持っている食べ物を置いていく所にほっこりと、心があたたかくなりました。
60	透明なゆりかご　産婦人科医院看護師見習い日記	沖田　×華／著	この作品はドラマでもみました！子育てで悩んでたとき読みました～

	書名	著者名	コメント
61	ドカ食いダイスキ！もちづきさん	まるよの　かもめ／著	毎回おいしそうにご飯を食べるもちづきさんにほっこりするとともに、己の食生活を振り返らずにはいられない。勉強にもなる１冊です。
62	図書館にいたユニコーン	マイケル・モーパーゴ／作，ゲーリー・ブライズ／絵	戦争中でも本を守りつづけていくお話です。とても本を守る力がつよいなと思いました。何回もよみたくなる本です。
63	とっときのとっかえっこ	サリー・ウィットマン／ぶん，カレン・ガンダーシーマー／え，谷川　俊太郎／やく	おじいさんがしてくれたことを覚えているネリー。おじいさんとそっくりのとっかえっこが心にジーンとくる優しさの循環の物語です。
64	友だちになれたら、きっと。	ガリト・フィンク／作，メルヴェト・アクラム・シャーバーン／作，リツァ・ブダリカ／編，いぶき　けい／訳	1988年、イスラエルとパレスチナの12歳の二人の少女がお互いを知るために始めた文通の記録です。 対立が続く2つの民族の少女たちの間で交わされた手紙から、平和とは何かを考えさせられます。
65	どんぐりかいぎ	こうや　すすむ／文，片山　健／絵	森の動物たちと、どんぐりの木たちの１年を通しての物語がかかれている絵本です。自然と動物との共存の大切さがわかります。

	書名	著者名	コメント
66	夏目家の妙な人々	わかつき　めぐみ／著	個性豊かな夏目さん一家とその近隣の人々のユニークな日常を季節にそって描いた作品です。中でも七夕の季節、各々の願い事を書いた短冊を笹につるすエピソードはひっそりお互いを思いやっていることが分かるのでほっこりします。そして何より夏目父のかいた短冊こそ、平和な日常であることを願う一言だと思うのです。
67	７年目のランドセル	内堀　タケシ／写真・文	日本でつかわれていたランドセルを送っただけでよろこんでくれてると私もうれしくなりました。
68	にぐるまひいて	ドナルド・ホール／ぶん，バーバラ・クーニー／え，もき　かずこ／やく	19世紀のとあるアメリカ人家族の暮らしをあたたかみのある美しい絵でつづられています。 季節の巡りに合わせて、助け合って生活を営む様子は、異国のことなのになぜか懐しくも感じられ、心があたたかくなります。
69	日本文化を世界へ：中小企業のソフトな海外展開	日本政策金融公庫総合研究所／編	日本の文化、製品を海外展開している12社を紹介しています。ウクライナに日本庭園を作庭したときの庭師と施主の心あたたまるエピソードが印象的でした。 文化の交流は、世界平和の架け橋だと感じた本です。
70	ねえ、ぴよちゃん	青沼　貴子／著	いつも元気な小学３年生の女の子ぴよちゃんのあたたかくて楽しい日常が描かれていて、読むとほっこりした気持ちになります。
71	ねこのジョン	なかえ　よしを／作，上野　紀子／絵	ちがうものどうしの共に生きてゆくたいせつさがわかると感じます。

	書名	著者名	コメント
72	パイド・パイパー	ネビル・シュート／著，池　央耿／訳	第二次世界大戦下のフランス　動かなくなったバスから降りたイギリスのおじいちゃんは武器もなく機転だけで子どもたちの手を引いてイギリスへ帰るというお話。
73	はだしのゲン　（全１０巻）	中沢　啓治／著	げんばくのはなしでとうじつのげんばくのようすがわかるからです
74	はだしのゲン　（全１０巻）	中沢　啓治／著	とうじつのげんばくのようすやどう昔の人はすんで、くらしたかわかるからです。
75	はだしのゲン　（全１０巻）	中沢　啓治／著	麦になれ、ゲン　前向きな気持ちになる言葉だと思いました。
76	ハチドリのひとしずく	辻　信一／監修	森が火事になり、一羽のハチドリが火を消そうと何度も水のしずくをくわえて往復しますが、他の動物たちは「無駄だ」と笑います。「私は私にできることをしているだけ」と言うハチドリの姿に他の動物たちも心を動かされる、という話。『小さな行動も積み重なれば大きな力になる』という教えがあり、２０年近く前に出会った本ですが、ずっと心に残っています。多くの人に読んで欲しいな、と思う本です！
77	はとよひろしまの空を －アニメ版―	大川　悦生／原作 大川　弘子／文 大川　富美／文	幼児でもわかりやすく読める。

	書名	著者名	コメント
78	花競べ/実さえ花さえ	朝井　まかて／著	江戸の植木屋新次とおりん夫婦が主人公。夫婦のもとに預けられた男の子が随所で活躍し、そのかわいらしさにいやされます。植物の名前もたくさん出てくるので花好きの方にもおすすめです。(文庫と単行本でタイトルがちがいます。)
79	ばばばあちゃんのマフラー	さとう　わきこ／文・絵	未記入
80	はらぺこあおむし	エリック・カール／さく， もり　ひさし／やく	小さないのちが成長し、光へと羽ばたく物語。世界の子どもたちに平和の希望をそっと伝える絵本です。
81	ひばくポンプ	児玉　美空／作・絵，藤川　祥子／〔ほか〕訳	小さなポンプがつなぐ、いのちと記憶。静かに平和を願う絵本です。
82	ひばくポンプ	児玉　美空／作・絵，藤川　祥子／〔ほか〕訳	小さなポンプがつなぐ、いのちと記憶。静かに平和を願う絵本です。
83	ひばくポンプ	児玉　美空／作・絵，藤川　祥子／〔ほか〕訳	小さなポンプがつなぐ、いのちと記憶。静かに平和を願う絵本です。
84	ひばくポンプ （Hibaku water pump）	児玉　美空／作・絵，藤川　祥子／〔ほか〕訳 （Written by Misora Kodama)	小さなポンプがつなぐ、いのちと記憶。静かに平和を願う絵本です。（A small pump comeeets lives and memories book quietly wishing for peace ）

	書名	著者名	コメント
85	ひばくポンプ （Hibaku water pump）	児玉　美空／作・ 絵，藤川　祥子 ／〔ほか〕訳 （Written by Misora Kodama)	小さなポンプがつなぐ、いのちと記憶。静かに平和を願う絵本です。 （A small pump connects lives and memories.A picture book quietly wishing for peace.）
86	１００万回生きたねこ	佐野　洋子／作・絵	１００万回死んで生きた猫が、白い猫と出会って愛することを初めて知り、初めて悲しみも知る物語。
87	１００万回生きたねこ	佐野　洋子／作・絵	何度も生きたねこが、はじめて愛を知る物語。深い感動といのちの意味を教えてくれます。
88	ヒロシマ消えたかぞく	指田　和／著， 鈴木　六郎／写真	この作品は、原爆投下前までの、鈴木さん一家の平和な日常をとらえた写真絵本です。写真が趣味だったお父さんが撮った、家族の笑顔の写真。その一枚一枚の写真から、戦時下でありながらも、家族で明るく生きておられたことが伝わってきます。しかし原爆投下により家族は全員亡くなってしまいます。原爆のむごさ、そして日常の平和な生活がいかに尊いものであるかを感じさせられる作品です。
89	ひろしまの満月	中澤　晶子／作， ささめや　ゆき／絵	引っ越してきたばかりのかえでちゃんに、人間のことばを話せるようになった亀の"まめ"がなぜかえでちゃんの家の池に住んでいるのか、語ってきかせてくれるお話です。 ちょっと不思議で、でも戦争について考えさせてくれる内容です。

	書名	著者名	コメント
90	ぶたぬきくん	斉藤　洋／作, 森田　みちよ／絵	ぶたなのにいろいろなものに化けることができます。ぶたくんとたぬきくんがみんながえがおになることをするのがうれしくなります。
91	ブラック・ラグーン	広江　礼威／著	物語の舞台になる街の治安が常に最悪なので、平和のありがたさを感じられます。
92	へいわとせんそう	ヨシタケシンスケ	平和の父やせんそうの父など平和のごはん。せんそうのごはんなど。 ★
93	ぺちゃんこスタンレー	ジェフ・ブラウン／文, トミー・ウンゲラー／絵	９８年国際アンデルセン賞受賞画家とジェフブラウンのコンビがおくる物語。「スタンレー」くんを中心としたくすっと笑えて素敵なファミリーのお話し。家族をぎゅっとしたくなるかも。
94	ぼく、ちきゅうかんさつたい	松本　聰美／作	本の表紙からはそうぞうできない展開で途中から涙がでました。おじいちゃんとまごの様子やきずなが心にひびきました。
95	まごころお届けいたします。 （読書がたのしくなるニッポンの文学）	岡本　かの子／〔ほか〕作	古くって、新しい。うんと昔に書かれたものではあるけれど、今、読んでみても「人を大切にする」ゆずれない思いが読みつがれてきたのかな？
96	町田くんの世界	安藤　ゆき／著	天然で純粋な町田くんのちょっと不器用だけど優しくて温かい日常。読めば自然と笑顔になれる、心に優しい青春ストーリーです。

	書名	著者名	コメント
97	真っ黒なおべんとう	未記入	戦争で原子ばくだんがおちた時に学校にいたむすこの死体などをお母さんがさがし、おべんとうにおとうさんの名前がかいてあるおべん当をみつけ、お母さんがみつかってよかったと安心するので心が温まりました。 ★
98	マットくんのきょうりゅうだ！	ピーター・シス／さく	きょうりゅうのおはなしがなくて、自分のおもいどおりによみました。
99	ママだいすき	まど　みちお／文，ましま　せつこ／絵	私が子どもの頃、母に読んでもらっていました。今でもこの本を見ると、なつかしく思い出されます。
100	まんじゅうこわい	川端　誠／〔作〕	こわいってどういう意味？と不可解な題名とは想像もつかない大笑いできる落語です。
101	ミッケ！　9	ウォルター・ウィック／写真，ダン・マルゾーロ／文，デイブ・マルゾーロ／文，糸井　重里／訳	いろんな、なんか、いろいろのさがすことが、なんかおもしろくてよかったです。
102	蜜蜂と遠雷	恩田　陸／著	ルーツの異なる若者たちの感受性の豊かさがまぶしく、少しうらやましく、AIがもてはやされている現代だけど、人間って素晴らしいと思えました

	書名	著者名	コメント
103	むこうがわのあのこ	ジャクリーン・ウッドソン／文，E．B．ルイス／絵，さくま　ゆみこ／訳	柵のこちら側と向こう側に暮らす、黒人と白人の少女が柵をはさんで次第に距離を縮めていきます。人種の違いや偏見を軽やかに越えていこうとする彼女たちの姿に心があたたかくなります。
104	めがね　うさぎ	せな　けいこ／作・絵	おばけがおどかすことが　できなかったから
105	めっきらもっきらどおんどん	長谷川　摂子／作，ふりや　なな／画	未記入
106	もっとおおきなたいほうを	二見　正直／作	ひょんなことから始まった、王様とキツネの大砲くらべ。どんどんエスカレートしていき、なんだかおかしな方向にすすむ様子には、面白さとともに、争うことの無意味さを感じます。 そして、結末はとてもほっこりさせられる絵本です。
107	「モモ」（愛蔵版）	ミヒャエル・エンデ／〔著〕，大島　かおり／訳（written and illustrated by Michael Ende Japanese translatd by kaori Ooshima）	時と心の大切さを教えてくれる物語。人生を見つめ直す一冊。日本語の愛蔵版の「挿絵」がおすすめ。 なお、日本語の文庫版は、挿絵が一部省略されている。 A story that teaches us the importance of time and heart. A book that makes you rethink you life. We recommend the `illostrations` of the beloved edition（japanese） Some illustrations are omitted from the paperback-edition（japanese）.

	書名	著者名	コメント
108	もりいちばんのおともだち	ふくざわ　ゆみこ／さく	ヤマネくんが大好きなクマさん　クマさんが大好きなヤマネくん　２人は、とってもなかよし 読んでいる時も読み終わった時もやさしい気持ちに包まれる物語です。
109	やきいもの日	村上　康成／作・絵	仲良しの友達とケンカすることがあるかもしれない。「ごめんね。」の大切さ、尊さを教えてくれる１冊です。
110	逝きし世の面影	渡辺　京二／著	江戸時代、貧しくとも志を高く持ち、子供を大切に育て、「平和」そのものの世があったこと。今、現代にそのような時代の教育、考え方があったことをたくさんの人に知ってほしい。
111	夢をかなえるノート術	おふみ／著	私はこの本を見た時、心がわくわく楽しくなりました。この本のおかげで前向きになり、行動力もUPしました。
112	ロブスター岩礁の灯台	ジェイムス・クリュス／著，森川　弘子／訳・解説	おだやかで平和でうつくしい短いお話がたくさん出てきます
113	若草物語	未記入	４姉妹それぞれの日常や思いが描かれています。ラストまで目の離せない、感動物語です。

★

	書名	著者名	コメント
114	わたしがちいさかったときに	長田　新／ほか著，岩崎　ちひろ／画	今から50年ほど前に中学校の図書室で出合った本です。原爆戦争に寄り少年・少女達が深く心も身もきずつき、生きて あるいは死をもたらし、ひとりひとりに名前があり 親・兄弟があったことを教えてもらった本です。
115	わたしのワンピース	にしまき　かやこ／えとぶん	ワンピースのがらがかわって　たのしそう。
116	わたしの木、こころの木	いせ　ひでこ／絵・文	１本の木を通して、自然と人との深いつながりを描いた絵本です。静かな時間の尊さが、平和のぬくもりを感じさせます。
117	んんちしたのわだれだ	未記入	んうちしたのわだれだ ★